

名取しげはる

後援会報

第10号

2025.01



後援会の皆様、ご家族の
皆様にとって実り多い年
になりますように。



皆様、あけましておめでとうございます。

それぞれに希望に満ちた新春をお迎えのことと思います。

巳年は、今まで努力し積み重ねて来たものが実る年とも言われています。

私も2期目の町長に就任して4年目、皆さんにお約束し、掲げて来た公約には全て着手できておりますので、これからさらに各政策に磨きをかけて参りたいと思っております。

今年、富士見町は旧4ヶ村が合併し町政が施行されて以来70年という節目の年を迎えております。

現在の町の繁栄を築いて頂いた多くの先輩の方々に心から敬意と感謝を表わし、併せて将来のまちづくりにしっかりと取り組んで行くという我々の気持ちも示したいと考えております。

1月13日の夜には、九州で大きな地震があり、南海トラフ臨時情報が発表されました。町でも夜10時には災害警戒本部を立ち上げ、情報の収集に当たりました。

幸いにして大事には至りませんでした。災害はいつ襲って来るかわかりません。

改めて、災害に対する物心両面での備えの重要性を認識したところです。

これからも、町民の皆さんの命と暮らしを守るために、あらゆる災害に対して万全の備えをして参りたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年1年が皆様にとりまして平穏で明るく実り多い年となりますよう心から祈念申し上げあいさつと致します。

富士見町長 名取重治

二期目を振り返り

名取町政二期目の出発は、コロナの感染が全国でピークを迎えた時でした。我が町においても同じく、毎日新規感染者が多く発生し、町民の不安は最高潮に達していました。人が集まることはなくなり、区の行事もほとんど中止になり、又、飲食業や宿泊業は大きな打撃を受けました。介護施設でも面会が出来なくなり、会えたのは亡くなってからだったという話を聞きました。

そうした中で、毎夜町内放送で、町長自らが発表する町内の感染状況報告と、町民の取るべき冷静な対応への一言は、どんなに町民の不安を和らげてくれたかと思えます。

さて、そうしたコロナ禍においても、果敢に公約した行政課題に着手して来た名取町政を高く評価します。

コロナが収まった今、二期目の仕上げに力強く進んで欲しいと思えます。



後援会長
小池与左衛門



名取しげはる

●後援会長 ●副会長 ●副会長 ●副会長 ●副会長 ●副会長 ●女性部長 ●幹事長

後援会

小池与左衛門 久保田彦衛 平出藤陽 森山高志 細川修次 植松 収 矢沢里子 小林良光

活動内容は
裏面へ



2期目の公約に掲げた全ての政策に着手

観光面は

✓ 八ヶ岳観光の振興

✓ 井戸尻考古館の移転新築

✓ 富士見パノラマリゾートを次のフェーズへ

✓ 道の駅鳶木宿の増改築



大雨にも関わらずOKKOH踊りに参加してくれた町民にエールを。



富士見駅、開駅120周年 富士見町発展へつながった日です。



元気で育ちますようにと願いを込めて。



出初式。消防団は富士見町の安全安心を守る要。



株式会社ヨドバシカメラ様より企業版ふるさと納税3億円をご寄付いただきました。富士見で育った藤澤会長の八ヶ岳への想いを実現していきます。



富士見町と富士見高校は、まちづくりや教育の充実を協力して進める包括的な連携協定を結びました。



災害時、町民の命を守るためどのように動くか、役場に対策本部を立て、全町で本番さながらの訓練を行いました。

名取しげはる 後援会 事務所

〒399-0211 富士見町富士見6444

TEL.0266-62-3878

natori@shigeharu.org

ホームページ <https://shigeharu.org/>

名取しげはる 検索

